

1. 学校の教育目標

明るい子～「明るい子ども」として、「自分の個性を理解し、自己実現を図る子ども」を重視する。「せたがや探究的な学び」を通して、学習を自分事として捉え、課題を把握し、解決の見通しをもって取り組む力を身に付けさせる。～

正しい子～「正しい子ども」として、「学校生活・社会生活を創る子ども」を重視する。人権意識や規範意識の醸成に基づき、豊かな人間関係を築く力を身に付けさせる。～

たくましい子～「たくましい子ども」として、「力を合わせて達成する子ども」を重視する。多様な他者のよさを理解し、協働して解決しようとする態度を身に付けさせるとともに、心身の健康づくりを進める。～

2. 本年度の学校評価の具体的な目標や計画

（目標）

本校の「教育目標」「学校経営方針」「明正の教育」「学校関係者評価アンケート結果」に基づき、実施してきた教育活動、経営活動を総合的、客観的に評価し、新年度を待たなくとも今すぐに改善できる内容は改善する。また、結果に基づいて来年度の教育課程を編成し、本校の教育の充実、向上を図る。

（計画）

- (1) 学校関係者評価を行う。～12月始～
- (2) これまでの教育課程の実践について、どの程度達成できたか、項目ごとに評価する。12月
- (3) 学校独自の自己評価点検表に記入し、アンケート項目に沿って数値化する。12月
- (3) 個人、学年で評価し、改善策を記述し、末尾に（学年）を明記し学年単位で入力する。12月
- (4) 割り当てに沿って各分科会で個人・学年評価を検討し、改善策を参考に具体的な提案を検討する。1月
- (5) 学校評価全体会で分科会提案を検討する。1月
- (6) 管理職が主幹教諭や主任教諭から、来年度に向けた具体的な計画作成のためのヒアリングを行う。

3. 学校評価（自己評価）まとめ ※全体会と主幹教諭、主任教諭からのヒアリングを基に作成

NO	評価項目	成果	課題	改善策
1	教育目標	・適切に、意図的に取り組まれている。	特になし	特になし
2	学校の重点目標	・学びのサイクルやICT活用等意識されている。	・内容は良いなと感じるが、重点をもっと重点をもっと押していくべきではないかと感じる。 ・NIEタイムが重点となっているが、重点とするならばモジュール等を活用して取り組むべきだと感じた。	・NIEタイムは区の施策となっている。重点としていく場合は今後モジュールの中に組み込んでいく年間指導計画を立てる。
3	基本方針	・安心・安全の意識は高くもっている。	特になし	特になし
4	各教科	・理科専科はとても助かった。 ・プールが1学期で終わりになり良かった。（夏の水質管理の問題など） ・自由進度学習を進めていたことで、子ども主体の学びを促すことができた。 ・社会・国語など、ロイロノートに学習カードなどの蓄積が進んでいる。 ・適切に時間配分がされている。 ・専科の日を学年ごとに固め	・算数少人数、1年生から取り組むのであれば、保護者会等でどういう子が対象で、どんな良さがあるかなど、詳しく説明をして仕組みなどを周知しておいたほうが良い。 ・1学期T2で入ってもらって2学期から指導開始などのやりかたもあると思う。 ・資料の整理（主に算数）をして、授業実践の資料を残してほしい。 ・夏休みの宿題の出し方についてはキュビナを推奨していたので、3年生はキュビナを宿題に出したが、出しているのは3年生のみだった。また、保護者からが紙ベースの宿題の方がよいとの声があがっていた。 ・サマースクールについては熱中症指數が	・1年生の少人数については、保護者会等で周知をして、1学期T2に入つてもらい、児童の様子をつかんでから、2学期少人数で実施できるようにする。 ・夏休みの宿題については、キュビナを推奨し、ドリルは買わないことを統一していく。 ・サマースクールについては、現在の事情を考えてな

	<p>たことに効果があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プール1学期で終わりになりました。（夏の水質管理の問題など） 	<p>基準値を超える日が多いため、炎天下での子どもの登下校を考えると負担が大きい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の指導については、余剰時数がなく、行事などで指導時間がないため指導できない。指導と評価をどうしていくか、学校としてどう扱っていくのか考えていく。 ・朝の指導で、モジュールを安定した曜日で、計画的に行えるとよい。 ・モジュールを国語以外の時間でもとれるようにすると柔軟に対応できると感じた。 ・モジュール・集会・朝会の安定した開催。 ・朝会を月一の月曜に統一。朝会の無い曜日に各委員会のコーナーを設ける。集会の発表日は、年間で計画的に予定しておく。（例、保健委員会は春と秋、運動委員会は運動会前や体力向上期間前など、教務から指示をもらい、各委員会担当があらかじめ年度前に日程を組む。児童主体で何をするかは大切だが、やってほしい内容の中で主体的にどのように発表していくかを考えさせるようにもっていく。）モジュールを火・木・金の3日（35週で計算すると、時数をしっかり確保できる。） ・よりよい学校・学級を作っていくためには特別活動もちろん大切だが、日々の学習も大切という意識をもたせていく必要がある 	<p>くす方向で調整する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト等は学年の実態に合わせて購入を決めていく。漢字学習の進め方は学年主任会で進め方を共有しながら進め方を考えていく。学校で少しだけでも触れておくことが必要。 ・モジュールについては次年度も届け出の関係上国語のみで行っていく。 ・水鉄砲、仮装など学習に関係ないものは持てこないし、行わない。学習と関連付ける。
--	--	---	--

あるのではないか。その視点があることで特別活動もより子どもたちができること・できないことをはっきり判別し、メリハリがある活動になるような気がします。例えばですが、学習のきまりをもう一度強く押し出すことも大切かなと思いました。

- ・夏場の体育の見直し（プールをもう少し早めて欲しい。

- ・体育の年間計画を網羅できない。特に体育館は大きな行事を考えると、7か月ほどしか使えない。また鉄棒やティーボールなど、内容が学年間で重なってしまい、調整せざるを得ない状況になった。

- ・教科担任制にすることで、時間割の調整に時間がかかるときがある。行事や出前授業、午前授業があると予定を変更しないといけないのでそこに労力がさかれた。

- ・教科担任制にすることで、専門性を高めるというメリットはあるが、その反面、初任者や若手にとっては、教科が絞られてしまい、他教科の指導技術を身に付けないで異動してしまうのが心配。

- ・週案を立てる際に、予定を確認しながら立てなければいけないので手間がかかる。また固定時間割をたてるときも考慮する必要がある。教科によって負担のばらつきが

- ・水泳の学習の時期は、5月末が運動会、6月1周目が体力テストと考えると、現状の6月2週目が相応しいと考える。

- ・固定遊具、陸上運動、ボール運動の用具や場所が重ならないように年間指導計画を見直す。

- ・校庭の朝礼台側を校庭A、体育館側を校庭Bと分け、固定時間割に記載する。割り振りの利用方法以外で利用したい場合のみ、該当学級同士で相談する。

- ・教科担任制については、年度末反省の内容を考慮していきながら、次年度に生かしていく。時間割等を工夫しながら調整していくが学級数が多いので家庭科や図工などとの兼ね合いもあるので限界はある。また教室移動等で学級がどこにいるかわかるように週案に明記する。C4 t hを使った週案を推奨していく。教室移動の整列など担任が学年初めにしっかりと指導していく。

		<p>導に当たることができ、児童理解も深まった。所見などもいろいろな先生が見てくれているので、多様な観点で評価することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科担任になり、自身の学級を複数人で見てもらうことでその子の可能性が広がったり、新しい発見があったりした。大人や環境によって変化する子どもたちを見て価値づけもしやすくなつたと感じている。 教科担任制。3クラスだから回せているし教科を分けられている。また週予定も立てやすい。学年で指導できるメリットは大きい。 教科担任制は有効だった。 	<p>あるように感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設面や講師・専科が学級数の関係で時間割の自由度が低く授業が進まない。または、とびとびになってしまい、学習効率が低い単元があった。また、理科と体育は個人的に準備するものが多く、負担が大きいと感じた。 教科担任制の弊害として教科指導力が付かない。 教科担任制は、専科教諭が担任と連絡が取れず、子どもの様子の引継ぎがない。保健室から担任に連絡がとれない。 	
5	特別の教科道德	<ul style="list-style-type: none"> 公開講座のテーマが早めに出ていたので助かった。 交換授業を実施し、効果があった。 価値項目を満遍なく取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳地区公開講座の略案は保護者があまり見ていないのでいるのではないか。 道徳地区公開講座は未だにやらなければならぬのか。年間の公開の中で教科を満遍なく見せる程度でも良いのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳地区公開講座は実施する。指導案の形式にとらわれず学習の意図が伝わるような中身になるようする。(教科書のコピーなど)
6	総合的な学習の	○ゲストティーチャーを多く呼び、学びを深めることができ	<ul style="list-style-type: none"> 明正プロジェクト(縮小、全校でなくてよいのではないか。) 	<p><u>・総合的な学習の時間に関して。</u></p> <p>学習の進め方に全体の周知が必要→年度初めの生</p>

時間	<p>きた。</p> <p>○計画的に行われている。</p> <p>○前年までのような、希望者が授業時間に講師の話を聞くために抜けることがなく、特に専科の授業がスムーズにできた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間で一つのテーマを追求していくのは3年生の実態にあってない。 ・明正プロジェクトの実施の有無全校一斉で成果発表をする必要性を感じない。 ・校内研究が終わり3年、年間1単元ということだけが一人歩きして進め方や留意点が伝わらなくなってきた。 明正プロジェクトが一つの大きなゴールになるのでそこでの価値付けを通知表に評価したい。通知表は2学期に道徳、3学期に総合にしてみてはどうか。 ・明正プロジェクトの実施のあり方。 ・明正プロジェクトがあるので、総合の評価を3学期に計画できるとよい。 ・障害理解教育が5年生の単元で示されているが、5年の教科外時数が多く、2学期に偏りすぎている気がする。ひまわり学級と実際に交流的な活動をしているのは、4年生なので、障害理解教育を4年に移行するはどうか。 ・総合の時数のわりに明正プロジェクトがあり、比重が重いように思う。学習発表会があるので、その時期にできているものを掲示・展示（取り組んできたものを教室前に）するはどうか。 ・学習発表会で学習の発表をしているのに 	<p>活総合検討会の充実を図る。探究部会で、総合を引き継ぐ。検討会では、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 昨年度の各学年の総合のぐるぐる図をデータにしていることの周知、それを見て計画を立てる。 ② テーマはあくまで広いテーマなので、そこから中心となることを決めて計画していく。 例) テーマ「環境」…SDGsを探究するのか、里山や野川の環境なのか、外来種とかそういうものにスポットを当てるのか、など児童の実態に合わせて、テーマからもっと絞っていく。 ③ その年のテーマは、社会科や昨年度の流れから教師が提示してもいいこと、単元の中で、子どもの意見や、やりたいことを引き出していく流れにするといいのではないか。 これらをしっかりと共通理解して「わからないから授業ができない」を防ぎたい。 <p><u>・総合の学年テーマについて、変更の提案。</u></p> <p>3年…オリエンテーション（総合とは）、地域 4年…共生社会、多様性（4年生の発達段階だと障害理解などか？）、 5年…食（社会科や、次大夫堀公園の田植えなどからテーマ設定が可能か） 6年…キャリア</p> <p><u>・明正プロジェクトについて</u></p>
----	---	---	--

		<p>、明プロでも学習の発表をしているのはなぜ…?どちらかだけでよいのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> 明正プロジェクトは本当に必要なのか。昨年度はなくとも、十分に子どもたちの学習の成果は見られた。 <ul style="list-style-type: none"> 5年生はゲストティーチャーや行事が多く、授業が苦しかったので人材バンク等の記録に残し、次の5年生が必要なものを選べないようにする。 	<p>今年度やってみて、反省を集約して今後の在り方を考えたい。</p> <p>部会としては、次の2つを考えている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 今年度のように日を設けるが、ペア学年のみの発表とする。 ② 明プロの日を設けない。ただ、相手や時期を子どもたちときめ、何かしらの「まとめ・表現・発信」をする。 <ul style="list-style-type: none"> 人材バンクのありかが周知されていないのが課題。年度初めの生活総合検討会での紹介をする。 	
7	教科「日本語」	<ul style="list-style-type: none"> 指導項目を厳選して行われている。 	<p>新しい指導書など指導内容が広がるようなものが欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世田谷区では新しい教科書になってからは指導書がないので、OJTなどの場で指導内容が広がるように出し合っていく。
8	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 縦割り班活動のときに放送を入れてくださったので助かった。 高学年が主体的に取り組めている。 「柱」や「今日話すこと」など、高学年が学級会以外の場でも活用するようになった。 縦割り班の計画をノートに記録したことで、積み重ねがあり子どもも振り返りやすい 	<ul style="list-style-type: none"> クラブ・委員会ファイルでコメントを入れるのであれば、次の活動よりも前に子供がそのコメントを確認する機会があったほうがいい。それか、ロイロノートを活用する、コメントを学期ごとにするなど、ファイルの運用方法を考えたい。 縦割り活動を避難訓練のある日にいれない。 遊び内容の掲示場所。直前のタイミングで張り出されるものもあり、確認が難しい。 明正チャンネル委員会は児童が活動イメージ 	<ul style="list-style-type: none"> クラブ・委員会のファイル運用に関してファイルボックスをクラスごとに設置する。回収したら一度児童はコメントを見て、ファイルに入れてクラブ、委員会時に自分でもっていく。(担当の教員は、クラブ・委員会があった週末までにファイルに入れる) 縦割りの日程は、被らないように調整する。 遊び内容の張り出しは、縦割りがある2日前までに掲示するようにする。 明正チャンネル委員会は、廃止し、各委員会の人数を調整して増やす。

	<ul style="list-style-type: none"> ◦ <ul style="list-style-type: none"> • 研究の成果か少しずつ自分たちでより良い学校を作っていくとする姿が見られる。 • 縦割り班の担当の方が見通しをもって用紙の準備や計画を立てていただき助かった。 • 児童が主体的に取り組む姿が見られる。 • 縦割り班活動の引継ぎの時期を早めたことで、5年生の意識も高まった。 • 放送委員会の声がさわやかでよい。 	<p>ージをもちにくく（常置活動の姿がみえにくい）、児童主体の委員会活動が進まない。常置活動もないため時期による負担感の差が大きい。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 朝の委員会枠は学期ごとの割り当てにできないか。委員会の所属児童の力によって準備が間に合うか変わってくる。 • 各委員会の集会は果たして本当に必要なのかは精査が必要だと感じている。「集会」と題してやらなくてもよいものもあるのではないか。 • 縦割り班活動の遊び場所を、毎月班ごとに決めていくのは手間がかかる。毎回縦割りの遊びを聞くが、遊び場所が決まっていないので、意味がなくなることがある。決まっていることの中で何ができるかを考えさせるのも主体的になるのではないか。 • 縦割り班ノートのふりかえりのコメントは各担当教員にしていく。 • 代表委員会の必要性を感じない。また、学校の課題などは生活指導のところと重複することが多く特別活動の範疇で指導しづらい。また休み掃除の時間を使ってやるなどの効果を感じないのでなくしてもいいのではないか。 • 計画委員との打ち合わせ時間の確保が難しい。
--	---	--

		<p>□案1 モジュールの時間</p> <p>□案2 キュビナタイム</p> <p>□案3 掫除の時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割りにむけての準備の見通しが立てづらく、毎回ぎりぎりの準備になってしまった。 ・スポーツ鬼ごっこやドッヂボールクラブなど活動が制限されすぎているクラブがあり、子どもの自由な意見が出にくい。 ・引継ぎを休み時間にしたことで、何度も集合することがあり、班ごとに引継ぎのばらつきがあった。 ・（放送委員会への提案）朝の放送で、今日の予定を伝えると、児童も教諭も意識できる。時節・行事ごとの情報を伝えるといい。 ・委員会時、早く移動している児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班担当に6年担任を入れる。 ・スポーツ鬼ごっこは、屋上クラブに、ドッジボールは、球技クラブに名前を変更する。 ・引継ぎは年間行事に1時間入れる。 ・放送委員会が朝の放送で予定を伝えます。 ・委員会、クラブの移動時間は13:00のチャイムで移動する。 	
9	外国語活動	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも楽しい授業をありがとうございます。 ・担任もT2として参加しないかと声を掛けてもらったのはありがたい。異動しても安心して指導ができる。 ・学年の特色に合わせた教材（動物紹介、キャリア紹介）やゲストティーチャーなど、素 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科カウントがしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語活動の教科カウントはできないようになっている。

		<p>敵な取り組みありがとうございました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的にALTの配置がされている。 		
10	生活指導	<p>○言葉遣いが課題であるが、よくはなってきているように思う。</p> <p>○校庭遊びルールの変更が浸透している。</p> <p>○生活指導主任の先生のきめ細かい声掛けありがとうございました。</p> <p>○毎月の指導項目や安全面など計画的に取り組まれている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・落とし物が多い。 ・登校時刻が早い。5分に開くからたまってしまう。遅らせたい。 ・入り方が危ないので学年ごとに並ばせる、待っているなど教えるのはどうか。それが嫌なら登校時刻ぴったりに来る。 ・行方不明児童の避難訓練、教員間の情報共有が必要に感じた。出席簿のクラス表示両面にした方がいいと思う。 ・体育館遊びの日など廊下歩行できない児童がいる。 ・昼休みと掃除の時間を逆にしてほしい。(戻ってくるのが遅い。教室にいる子が多くやらなければいけない。) ・週目標いらない。(目標が多くて浸透していない。) ・週の目標が本当に必要か。意識が高まらない。月目標だけでもよい。 ・看護当番の廃止 <p>①案：校庭の見守りを減らす。(担任が学級を見る時間が少ない。) 専科にある程度分担する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち物の記名は学校だよりや保護者会で強く訴える。 ・入室時に外に並ばせることはできない。室内は並ぶ場所がない。看護当番が安全指導をする。 ・学級ボードの掲示は両面にする。 ・体育館遊びに担任は看護当番や教科担任制のため同行できないが、整列移動させる。 ・昼休みと掃除の時間は逆にする(掃除15分昼休み15分予鈴5分)。 ・現状で指導の柱になっているのは週目標である。月曜朝の放送も有効で、週目標は現状通り続ける。 ・看護当番は現状通り(体育館遊びの半分が校庭に出るなど、かなり校庭の人数を多くしているため安全確保が重要)。現状通り中昼とも担当するのか、中だけ昼だけのようにするのか運用方法で工夫がで

	<p>②外注する。(PTAの方にお願いする。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の並び順番が現状だと並びづらいと感じる。 ・犬走を走ることの改善が見られない。カラーコーンなどを置いて対応するはどうか。 ・まる付けのために赤ペン、青ペンの使用を認めてもいいのではないか。(蛍光ペン) ・雨の日の遊びはトランプとウノ以外の使用はダメなのか。 ・室内で遊ぶ道具を増やせないか。 ・2次避難の時期の検討(夏は暑い、虫が多い)と地割れというアナウンスがあり、恐怖を感じる表現だと思われるので変更できたらよい。里山でない場合の場所の検討も視野に入れられるとよい。 ・上履き忘れが多く、貸し出し用がないと土足になるが、衛生面で問題がある。土足で調理実習したこともあった。 ・給食中に昼休みに遊ぶために玄関で待ち 	<p>きる。運用方法は各週の裁量とする。PTAは指導もできない。また、責任も負えないでお願いすることはできない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の並び順は、おおむね現状通り。旗を中心に、中心にむけて列を詰める。後列の高学年が早く来ても、前列の学級が通り抜けやすいように、空間に余裕をもって待機する(現在その通りに工夫してくれている)。 ・カラーコーンを毎回置いて片付けるのは難しい。看護当番が立って呼びかける。 ・カラーペンについては、高学年のみ可とする。4年生より下は授業の妨げになる可能性があるので不可。 ・教室遊びの道具は、予算的に多くは用意できない。また、統一したものを用意しないと各担任が購入しなければならなくなってしまう。予算の範囲で買い足す。 ・2次避難のアナウンスに児童が恐怖心を抱かないよう、事前指導を丁寧に行っていく。里山でない場合は成城学園か砧公園になるが、そこまで訓練で避難するのは現実的ではないので現状通り。2次避難の時期は11月に変更する。 ・年度末だけでなく、常時、家庭からの上履き回収をする。また、貸し出しを職員室前に一元化する。大きいサイズは購入する。 ・給食時間中は教室外に出ない。
--	--	---

		<p>構えている児童がいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬場の体育着の下に履くタイツやスパッツをありにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長ズボンの着用を主運動中でも可にする。長ズボンはジャージなど、運動に相応しい生地にする。上着同様に長ズボンの下には体育着を着用する。(暑くなったときに脱げるようにするため。また、けがの手当てをしやすくするため。) →要検討
11	キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にも浸透している。 ・ゲストティーチャーを招いた授業が充実した。次年度以降も予算を確保してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリパスは保護者にメッセージをもらう前に、先生のコメントを先に書いておいた方が効果が上がると思う。教員のコメントを含めて親が評価してくれるのではないか。 ・所見とキャリパス両方は負担が大きい。子供に伝わるのはキャリパスでは。 ・キャリアパスポートの3回のコメントが多い。年に1回でよい。 ・通知表とキャリアパスポートの保護者コメントをキャリアパスポートに統一する。 <p>分</p> <p>●キャリパスについて</p> <p>①教師、保護者からの思いやコメントは通知表に一本化したい。(通知表を渡す際も子ども一人一人に成長を伝えているはず) キャリパスの教員保護者コメントをなくす。</p> <p>②キャリパスのデータ化。回収、紛失等で煩雑。ロイロで作成、年度末に印刷してファイルに保存はどうか。</p>
12	特別な配慮が必要な児童への指導	<ul style="list-style-type: none"> ・小1サポーターの方ありがとうございました。 ・支援員さんにサポートに入ってもらって助かった。 ・生活指導夕会で共有できている。 ・養護、管理職が対応していただきありがとうございます。 ・毎週の情報共有が適切に行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入ってくださる時間を増やしてほしい。予算を増やしてもらえないか。 ・誰がどのタイミングで入れるか分からない。 ・ケース会議が長くなってしまう。 ・人手が足りず教室で見きれない。その状態を改善するための保護者対応の連携ルートも不明瞭 ・専科授業の振り替えて、すまいるルーム指導などが重なることがある。 <ul style="list-style-type: none"> ・サポートの入るタイミングは各ファイルにある。ファイルにはサポーターのコメントが入っているので、各担任は欠かさず確認する。一覧表を職員室の後ろに掲示はする。 ・ケース会議は、コーディネーターで事前に打ち合せている。個人情報なので事前に情報を配布することはしない。終わりの時間をホワイトボードに記載するようとする。 ・すまいるルームや学びの時間の確認は、振り返る際には、すまいるルーム指導や学びの時間指導の児

			童の有無を専科教諭と担任で確認する。提案通り。ただ、一覧表のようなものがあると便利なので、示し方を今後検討する。
13	その他の特色ある教育活動	<ul style="list-style-type: none"> 砧の学び舎は学校によって指導案を「作る」「作らない」などの差がある。指導案がない学校の場合、何を視点にみればいいのか分からず。また協議会も有意義な時間になっていないと感じる。 学び舎の指導案の廃止。(授業を見せる必要はあるのか) 4年生の障害理解教育について、各クラスで年度初めに説明していたがひまわり学級で担任が抜けることが多く、負担が多い。年度初めの学年集会でひまわり学級の時間を少しいただけると、学年に一括で説明できるので効率的になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 砧の学び舎については、次年度学習習得確認調査がなくなったため、今後の学び舎の在り方も変わってくると考えられるので、他の学校と共有しながら進めていくようとする。 障害理解教育については、各学年で相談し、時間を設定していく。
14	年間授業時数	<ul style="list-style-type: none"> 2、3学期は感染症とかもあるので、1学期は始めと終わり以外は欠時を作らない方がいい。 4月の4時間授業の日を減らすといい。 標準時数に沿いすぎて途中に追加される行事やイベントがあると途端に時数が不足する。教科書の年間指導計画はテストを勘案していないことと合わせて、多少余裕を持たせるか、イベントは入れない!のどちらかにすべき。 2年生の6時間目について、検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導時数については、標準時数を下回らないように設定している。また多くなりすぎないようにとの通達も区からは出ているので、教務の法でその時間を設定している。

		<p>である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の集中力、体力等、世田谷区働き方改革推進学校の年間授業時数と比較し、明正小学校でも、効率よい部分は取り入れられるとよい。 ・水金はB時程開催で、掃除カット。水曜4時間授業または、金曜5時間授業に向けて、行事時数軽減と年間指導時数計画を緻密に立てることは可能か。(年間週が35週以上あるので。) 	
15	学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な時数で行われている。 <ul style="list-style-type: none"> ・全校で集まる場が少ないために、話の聞き方が身についていない。特に始業式などの儀式の場のふるまい方を教えてあげる必要がある。 ・セーフティー教室で、保護者参観時、保護者意見時間があり、PTAがわざわざ質問を考えなければならない場面があったので、割愛できるか検討。 ・特別活動を研究しているので、こどもまつりを3学期に行うとよいのではないか。しかし、準備に時間がかかるため、時数的にも、教師の負担感的にも厳しい側面もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・儀式的行事のふるまいについては、各学級でしっかりと指導していく。 ・意見交換会は必須事項。独立させると来場者〇人ということが昨年度あった。そのためのやむを得ない対応。保護者が必ず参加する方法があったら生活指導にアイデアを寄せてほしい。 ・行事との兼ね合いで学活の時数をとって行う。(1月ごろ)
16	健康・安全 保健	<ul style="list-style-type: none"> ・体育にそぐわない服装で指導している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大人もジャージなど、体育の授業に相応しい服装にしましょう。

			<ul style="list-style-type: none"> ・体育授業での怪我が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動のねらいや、器械運動など特に怪我の多い領域の感覚づくりの運動を紹介する。
17	経営・組織	<ul style="list-style-type: none"> ・学年だよりが学校だよりに統一されたのはありがたかった。 ・夕会が1回になったことは業務負担減になりありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期に面談をしたいが、呼ぶと親に余計な心配をかける。所見もあり、負担なので1学期と3学期全員面談、2学期所見はどうか。 ・所見を全廃して、面談を2回にする。（5月・12月）記述式全廃。 ・子どもの課題が分かり、伝えたい時期に面談がない。2学期の所見をなくし、子どもの課題を含め伝える。（時数の確保が問題） ・諸帳簿提出前に職員会議があると若手教員が大変そうだった。 ・所見を三学期のみとしてほしい。（キャリアパスポートでも振り返りや教師からのコメントをしているため） ・通知表の行動の記録で「忘れ物をしない」の項目は必要ないように思う。忘れ物は児童個人の問題ではなく家庭が関係しているため、評価することが難しい。忘れ物が多い児童へは個別で家庭に連絡をして対応する方がよいと感じる。 ・道徳の評価を総合と入れ替えて2学期にできるとよい。 ・特別支援学級も1学期総合所見なしにできるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通知表については現在検討中。内容や項目についても今後示していく。また、キャリアパスポートの項目や個人面談との兼ね合いについても検討していく。

- ・校務分掌を整理し、数を減らす。一つの分掌に配置する人数を多くし、一人当たりの仕事の量を減らす。授業準備の時間も確保できる。運動会や学習発表会などの大きな行事の主任は2人でもいい。
- ・3部会や行事の組織についての組み合わせを変えてはどうか。
- ・教科書担当が4月に忙しいので、教科書担当を1・6年担任としないようにする。
- ・文化的行事の際に各学年へ内容が浸透していない。担当する人数を増やしたい。会議数も減らしたい。
- ・作品展と音楽会の2展開。
- ・学習発表会を特別活動部が行うのではなく、別組織を作ると負担軽減されるのではないか。運動会委員会と学習発表委員会を別組織とする。
- ・休憩時間と会議時間を逆にしてはどうか。
- ・クラブ委員会前に簡単清掃等の時間を設け、5分くらい遅らせてほしい。
- ・情報発信の重要性の扱い方について、Teamsに配信のみで、学校評価締め切り時15名というのは、配信者側の課題として考えられるとよい。(大切なら紙ベース、一斉実施日、職員室ホワイトボードに重要印、)見てくださいという責任より、みんな

・校務分掌の組織については、現在見直しを進めているところなので、今回年度末反省などもふまえながら見直ししたものを見していく。

		<p>が入力する環境を徹底する方法を、最後は、口頭でも伝達できるとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その他、自己申告の略案・学び舎の略案・道徳の略案を省略できるか。 ・学力向上部の内容・分担が学力調査と情報活用に偏っていて校内の指導力向上に関する役割がない。指導により学力向上が伴うので後手ではなく先手の取組をしたい。 ・協議会は若手の先生が増えてきた今、多くの先生方が参加してくれている。大きな協議会(従来のものは)は3回の研究授業のうちの最後の1回のみにし、その他は個別で来てくださった先生に指導を頂くのがよいのではないか。最後の一回に関しては学力向上部にて指導案検討まで行い授業力向上に関しては担保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各年次2名ずつとしても年間18回は多いので。一人年1回の協議会有り実践とする。初任は3学期、2年次は2学期、3年次は1学期にそれぞれ実施する。その他の授業については授業者が参観者に個別で聞きに行く。
18	研究・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・OJTを始めとする若手教員へのサポートが大変手厚く、自分自身も明正小に育ててもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年次研の協議会を1年に1回にする。(補教の教員が見に行く。) ・若手教員が授業参観できる機会を増やす環境を作る。 ・年次研修授業にあたり、指導案の事前検討が足りていない。協議会を減らすのならば猶更「指導案を書いて見せる」ではなく指導案作成にあたって目指す児童像や手立ての検討・指導を手厚くすべき。 ・研究内容に精通した人だけでなく、「研究」そのものの進め方を知っている人がい <ul style="list-style-type: none"> ・授業の見学については見る側見られる側双方の共通認識を図るために年度当初(職員会議等)で管理職や学力向上部、OJT担当から全職員に「基本いつでも見学してよい」旨を周知する。 ・指導案以前の授業構想については、月の会議時、授業を検討している年次研修者は学力向上部に出席し、意見をもらう。 ・研究に長けている人の意見を吸い上げて校内研究に生かしながら、校内全体で研究を進めていく。

			たほうがいい。内容の蓄積や校内指導の統一に向けた仕組みが構築されるといい。	
19	情報 ICT	○タブレットが学習用具として定着してきたような気がします。	<ul style="list-style-type: none"> ・1年のタブレット最初の使用は大変。パスワード忘れ、未ログインなど担任だけで対応できない。6年生に手伝ってもらえてありがたかったが、もっといい方法はないか。 ・教員用のiPadの代替があるとよい。区に予算を増やしてもらえるよう申請できないか。 ・iPadと校務用パソコンの連携がもっとできるといい。 ・児童のiPadだと抜け道があるので、インターネットの規制をより強くしてほしい。 ・ちょっとした連絡など、職員間でのTeamsのチャット活用を推進したい。 ・分掌がないため、デジタル化・効率化に向けてのシステム構築がされていない。教材や校務書類の蓄積整理、連絡などの手間を減らす「仕組みづくり」を考えたほうが、細かな変更を行うよりも大きく改善させられる。 ・職員のデータ管理について検討できるといい。 ・大型テレビへの投影が機器不足でできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生への説明について、「各サービスログインやパスワード設定、ロイロ基本操作、家庭にお願いしたいこと」を2学期学校公開で保護者を交え、機器配布と同時に使う。動画でアーカイブ化は次年度検討。 ・校内職員連絡はC4th、校務データ保管はTeams、学習資料はロイロ、と3本立てになっていることを改めて周知。職員室WBなどに書かれたことは、できるだけTeams投稿欄にリンクや写真を流すよう試験運用する。 ・分掌編成について、①学力向上・ICT部とし、内部で分割運用、②学力向上部とICT部をそれぞれ別に組織のどちらかを提案。

20	施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・ランドセル置き場が1人ずつでないのは、1年生には無理がある。毎朝入れるため教員の時間を取られる。 ・雨の日の昇降口、危ない。マットなどを敷いてあげた方がいいと思う。 ・多目的室の利用を全学年でフラットにしてほしい。(スマイル優先になっている気がする) ・高算数教室は遠くて、算数が5分前に終わらないと、次の授業に間に合わない現状なので、どうにかしたい。 ・教室に鍵を付けてほしい。長期休業中の持ち帰りを減らすことができ、体育着(水着)などの管理も教室でできる。 ・高算数教室の場所 ・ひまわり1組スピーカー調節器の修理、ひまわり1組の洗面団工用水道の修理、ひまわり学級廊下のドアレールを給食ワゴンが危ないので撤去、ひまわり学級に遮光パーテンの設置(午後の西日で画面が見えない)、校庭水道(ひまわり昇降口)の水圧を強くする(3人は手を洗えないぐらい弱い)、スプリンクラーの出る順番を変えると体育への支障が少ない。自転車置き場が水没するので、鉄板を敷いたらどうか。8時5分の予鈴または、各昇降口に時計の設 	<ul style="list-style-type: none"> ・ランドセル置き場については今後要望を出していく。 ・雨の日の下駄箱前は普段から主事が水を吐き出し滑らないようにしている。今後の方法については検討していく。 ・教室配置については、学級増が考えられるので、できる限り様々なことに考慮していくが難しい場合も考えられる。 ・ひまわり学級からの要望については、主事と相談しながら進めていく。
----	-------	---	---

置。校庭陸上用砂場を踏まないように囲む。校庭にピンなどの凸凹があり、トラックラインを含め正確にできるよう改修の検討。ジャングルジム横の桜の木は、活動が邪魔なことと毛虫がでることを考え、伐採の検討。屋上の床面の修繕。ひまわり2組にテレビがないので、教室の大きさに合ったテレビを設置してほしい。ひまわり3組の蛍光灯にカバーをする、もしくは保健室のようにLED化にしてはどうか。納戸の教室なので暗いです。職員玄関の職員用と来賓用の靴箱を新調してほしい。

・各専科教室の机、椅子が古くなって、危険性もある。

・月曜日の体育館割り当ては、低学年の方がいいのではないか。

・廊下フックのビニールひもは本当に有用か。後ろのものを取り際全て外さねばならず、戻すときも重たいひもを持ち上げている。そもそも整理整頓が苦手な児童はフックにかけたり抜いたりする作業自体をストレスにしている。専科バッグを設定すれば、廊下には専科バッグ、体育着、上履き袋の3点となり、ひもなしでもかけられる。

・得点板を新しく購入してほしい。

・行事はもちろんだが、その他でもやはり

・専科教室の机については予算要望を出して徐々に進めていく。

・4年生以下はビニールひもは「ないと困る」ほどの必須アイテムのため、1年生から使用を指導されてきた学年は使用に対して抵抗感はないと考える。そのため現状通り。それとは別に専科バッグ導入はよいアイデアなので、実際に活用して実績から統一した導入を検討したい。

・新しく得点板を購入する。(体育倉庫が圧迫するため、置き型のコンパクトなもの)

・来年度は学級数が増えることも考えられるため、

		体育館が苦しい。	1年生のみ体育館体育を合同体育にする。体育館の空きを増やし、体育館体育が円滑に進められるようになる。1年生が4学級の場合は2時間分を4学級で割り振る。5学級の場合は3時間分を5学級で割り振る。来年度以降は安全面を踏まえた上で、1学級ずつの割り当てに戻すのか、2年生にまで拡充するのか検討する。	
21	出納・経理	<ul style="list-style-type: none"> ・教材費担当に発行物が集約されているのはありがたい。負担でなければいいが・・・。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学時の口座開設連絡、担任がやるのは少し負担。 ・学年会計を専科にお願いする。 ・SSSに教材費振込用紙の記入だけでもお願いしたい。 ・会計の負担が大きい。移動教室や社会科見学で振り込みの期間が決まっているため立て替えざるを得ない状況がある ・会計担当の負担が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年会計については、会計の流れを明確にしていく。その上でどのように分担できるのか見直していく。
22	特別支援・教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ・SCが保護者対応に積極的に入ってくださって助かった。 ・支援会議の内容が共有されるようになり、児童への支援体制が分かりやすくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年での行事やイベントで、ひまわり学級の存在を忘れられることが多い。学級としても意識して声掛けをしますので、毎回確認をお願いしたい。 ・すまいる手厚く見ていただいている分、先日の研究授業では教員が多いということがあった。通常学級でも生かせる学びという点でみると、通常学級で困っている子供のサポートをしてもらえないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年での行事やイベントについては、お互いで声を掛け合い確認していく。ひまわり学級との連絡会を活用していく。 ・小集団指導は、周りで見ている教員も児童観察をしている。また、空き時間も少ないので、通常級のサポートは積極的にできる余裕はない。
23	給食	<ul style="list-style-type: none"> ・動画、児童が興味深く見ている。ありがたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食終わりに廊下に出ている児童が多い。 	

	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の動画が分かる動画が食育として良い。 ・リクエスト給食の取り組みが良かった。 ・給食を作っている様子の動画は子供がいつも興味をもっててくれている。ありがたい。 ・動画などで作っている様子などが分かるのがありがたい。 ・栄養士・調理師の安全配慮が徹底されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対応の児童に集中したいので、チェック表はなくせないのか。 ・給食準備中、給食中が委員会の話し合いの場になっている。給食時間は区切っていきたい。 ・残食が多いことについて、給食・配膳指導が適切にされているか、研修があつてもいいと感じている。 ・栄養士さんがくれた残飯などの講話を子供たちに5分ずつでも話してもらえると子供たちの意識も変わってくると思う。 ・担任不在時の給食の安全確保が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食チェック表は、文部科学省からの指示でなくすることはできない。給食時間の委員会活動については、生活指導の面からは提案通り。ただし、特別活動からの視点もあるので、特活部で検討する。 ・栄養士による喫食指導は、次年度は委員会活動を中心に、より回数を増やして指導する。 ・担任不在時は短時間でも遠慮なく職員室に連絡して応援をもらう。 	
24	読書・図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・工事が終わり、貸し出し可能冊数が増えました。 ・ブックトラックで読書に親しむ児童が増えた。 ・2年生が休み時間に図書館を使えるようになってよかったです。 ・算数室として使わなくなつたので、本来の図書室の使い方ができて良かった。 ・2冊借りられるようになって、児童の読書量が増えた。 ・読書に親しめるように、読書週間を設けていてよい。理想は月1でも図書の時間をと 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の時間など学級文庫を活用する時間が必要だと思う。 ・余剰時数がないので、図書室に行けいない。 ・ブックトラックは各学年1台にならないか。2学年共有で使っていったので不便に感じた。 ・読書の時間を学校統一で月に1回でもつくってほしい。 ・絵本室の活用も、活発になるとよい。 ・教室が足りなくなる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックトラックは今年度も買い足して数を増やした。来年度も購入し、多くの学年に活用してもらえるよう環境を整えていく。 ・絵本室や図書館使用の割り当てについて、どの学年もより効果的に活用していくよう、来年度に向けて検討していく。 ・学校として読書の時間を設定するには、時程にも関係してくるので、早急に変更することは難しい。まずは、各学級で何曜日のこの時間は『読書の時間』にすると決めて、毎週取り組んでみるはどうか。一人一人の児童に読書習慣を身に付けさせることが大切なので、各学級で一番取り組みやすい時間帯(モジュール等)に取り組むことも有効だと感じる。 ・2冊貸し出しを始めて、読書量が増えたのはよかったです。今後は、不明本がこれまでより増加しないよ

		<p>ってあげたいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学年算数室ができてからすごく活用がしやすくなりました。ありがとうございます。 ・環境が充実している。 		<p>う返却を徹底していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班活動や異学年交流等で読み聞かせの実施を子どもたちへ投げかけてみるなど、本に親しむ機会を増やしていきたい。
25	自己点検の数値を受けて	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわり学級との交流給食がよい取り組みだと感じた。 ・適切な学習環境になっている。 		
26	学校関係者評価アンケートを受けて	<p>1、 学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習について肯定的に捉えている児童が多い。すべての項目で R5年度より上がっている。特に、「先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。」についての肯定的評価が R5年から 8 ポイント上がって 93,2% である。教員が日々授業改善に取り組んでいる成果である。 <p>2、 生活指導について</p> <p>生活指導について肯定的に捉えている児童が多い。すべての項目で R5年度より上がっている。特に「先生に注意されていることは理解できる」に</p>	<p>7、学校独自項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自分の考えを書いたり、発表したりしている。」の項目の肯定的評価が低く、63,2% になっている。 ・「体育や休み時間に進んで運動している」の肯定的数値が低く、76,4パーセントになっている。(ただし、R5より 5 ポイント上がっている) 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを使って書いたり発表したりすることもその活動の一つであることを伝えていく。 ・ロイロノートを使った発表をしていく。 ・ペアやグループで考えを確認し、スマールステップで全体発表への段階を踏む。 ・低学年から書く経験をふやす ・自分の考えをもつ時間をしっかりと設ける。 ・体育の時間や体力づくり旬間で体を動かすこと運動することの楽しさを実感させる。

	<p>についての肯定的評価がR5年から約5ポイント上がって90,4%である。</p> <p>3、 学校行事について 児童主体の活動を大切にした結果、「学校行事は達成感がある」の項目で約11%上がって90,4%となった。</p> <p>4、 キャリア教育について キャリアパスポートの活用がしっかりできているので「目標をもちその実現に向けて努力している」の項目の肯定的評価が約6ポイント上がり88,8%となった。</p>		
27	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・会議が定時をすぎて行われている。 ・成績処理の時期の会議やOJTの削減。 ・8時05分勤務開始で、ほとんどの教室に担任がない。休み時間も学年の先生が不在で管理不足がある。児童管理を改善していくかないと事故が起こったときには遅い。 ・8時05分の勤務は朝にゆとりがない。研修では16時45分終了なので、勤務時間がオーバーしている。勤務開始を8時15分に戻す。 ・駅伝練習の際、先生が一緒に走るよりも教室で児童管理が優先だと思う。児童管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や研修等で勤務時間が16時35分以降になってしまった場合は管理職に相談し対応する。 ・①以前は8時15分だったが、正門前・昇降口前に児童がたまってしまい、安全面で危険となる。その時間、教員が安全確保ができない。②8時15分から25分までの10分間で教室に入り支度をするのは難しい。③遅刻が多いので8時25分にスタート着席する決まりが徹底できていない。などの点から登校時刻の目安を8時05分から8時20分までとして、朝の会の開始を8時25分とするように保護者に伝えていく。 ・駅伝の練習開始時刻は8時5分からとなっている。練習に参加している教員の学年は看護当番の時と

		<p>が疎かになる依頼はしない。</p> <ul style="list-style-type: none">・朝、西門を閉める際に慌てて入る子がいて、危険。また、西門で待つ子も多くない・動線が交わる危険もある。・遅刻が多い。・保護者のすぐーるへの入力が遅いが多い。・体力向上に向けて	<p>同じように学年でみていく。それでも難しい場合は補教などの体制をとる。</p> <ul style="list-style-type: none">・西門については混雑緩和のため、現状通り。・すぐーるの入力は学校だよりや各保護者会だよりさらに訴えていく。・体力向上甸間の2学期は長縄、3学期は短縄で実施する。
--	--	--	--